

や す ら ぎ

平成 21 年 6 月 1 日
〔第 122 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

セミナー準備へ始動

第 13 回生涯学習セミナーの実行委員長という大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。



講師の先生も、愛媛県西予市の沖野一先生と三重県伊賀市の榎正和先生に決まり、いよいよ本格的にスタートする運びとなりました。

セミナーの準備はまだまだこれからですが、会員の皆様には何かとご多用のところ、セミナー開催による人身開発救済の為に御協力の程よろしくお願い申し上げます。 岡川 福弘

中日本センター講座を受講して



4 月 16 日～19 日の 3 泊 4 日で中日本生涯学習センターのセンター講座を受講しました。

瑞浪の地は 15 年ぶりで非

常に懐かしい光景でした。

弊社の従業員を連れて行くということで、同行受講という感覚で受講しましたが、講義や同じ部屋の人たちと話し合いを繰り返していくうちに、「自分自身がしっかり学んで帰らないと」という気持ちになり、「自分は沢山の人の生かされているんだ」という感謝の気持ちを改めて気付くことができました。

しかし、センター受講が終了し「現実の世界」に戻ってくると、その時学んだ心も希薄になってしまいがちです。車の車検ではありませんが、定期的に講座受講するなど、自分自身を見つめなおす機会を作って、よりよい生活を送りたいと思っています。

米田豊高

私は、今回のモラロジーのセンター講座を受講させていただき、講師の先生方の話の中で、特に印象に残った話が 2 つありました。



1 つ目は、「自己中心の心(利己心)」の話です。日頃の家庭・職場生活において、気付かぬうちに自分の考えが一番正しいと思いがちです。そして、それを周りの人に強要すれば人間関係に悪影響を及ぼします。

相手や第三者の立場に立って、見方や考え方を変えると共に、自分は様々な人から支えられて存在していることを常に認識する必要を感じました。



平成21年度 第1回 創立50周年記念 中日本生涯学習センター講座 平成21年4月16日(木)～4月19日(日)

しく学び、身も心もリフレッシュすることが出来ました。また、講師の方々是非常に話が上手で、退屈することなく聴講することができました。食事も美味しかった。モラロジーとは、難しく考えるのではなく、あたり前のことをあたり前でないことに気づく学問であると

2つ目は「余徳」の話です。現在、私が何不自由無く平和に生活を送れているのは、祖先や両親の過去の行為に対する恩恵があればこそだと知ることができました。私も、できるだけ範囲内で徳を積み、そして、それを子孫に残せるように努力していきたいと感じました。

今回の講座を受講させていただき、以上の2つの話から学んだ事を常日頃頭に置き、そして、それを家庭・職場で実行して活かすことができるように努力したいと感じました。

三光丸本店品質管理係長 中尾利美

私は、4月16日から19日の4日間、中日本生涯学習センター(瑞浪)で実施されたモラロジーセンター講座を受講しました。

当初、社長からモラロジーセンター講座を受講するように言われた時、正直あまり気が進みませんでした。修行のつもりで参加しましたが、実際受講してみると、想像していたよりも、楽しく4日間を過ごすことができ、受講して良かったと思っています。



当センターは山と林に囲まれた環境抜群の所で、楽

言うことを聞き安心した。

今年4月早いもので、私はサラリーマン生活40年目にはいりました。この節目の時期にモラロジーを勉強させて頂き、残された時間をいかに生きるかを考える上で、役に立ちました。今後共、人様のお役に立てる人間関係の輪を少しでも広げてゆきたいと思います。

三光丸本店工場長 石井和博

クリーンキャンペーン

5月17日(日)事務所清掃の日、事務所の清掃を1時間ほど行い、その後事務所前の川沿いに、吉祥草寺まで空き缶やゴミ拾いを行いました。

事務所前の川には、空き缶やゴミが少し有りま



したが、吉祥草寺までの道路には殆ど見受けられませんでした。境内は綺麗に掃き清められていま

したので、駐車場や外回りのゴミ拾いをしました。

次にお寺からコンビニに向けて進み、コンビニ角から緑町交差点に向かいましたが、この道路沿



いの川には相当量の缶・ビン・ゴミが捨てられていました。

車の交通量も多いので注意しながらやっていますが、ゴミを拾っていることが分ると、大きくそれてくれたり、最徐行で側を通過してくれる車が多かったです。

緑町から千早紙工さん角を曲がり事務所へ戻り、事務所でゴミの分別を行い約1時間の活動でした。

社会貢献委員

歩こう会山の辺の道北コース



4月26日(日)晴といたいところだが、空が少しあやしい、その上4月というのに寒い北風が強く吹く中、7時事務所を6名で出発。途中で昼食を買い、8時に出発点の石上神社に車を置き、鶏の「コケッコー」の挨拶を受け、お参りを済

ませゴール地点の奈良に向かって歩く。

山々は笑って迎えてくれる。竹やぶでは竹の子が。八重桜のピンクのじゅうたんがそこここに。見上げれば美しい藤の花が。春、芽吹き季節。あ～幸せと思いきや北風が・・・「さぶ～！」弘仁寺のお参りを済ませ正暦寺へ。ここでは尼さんがお堂を開けてくださったので上がらせてもらい全員で般若心経を一巻唱えた。

「青垣山こもれる大和の美しい山なみ」奈良ってこんなに美しかったんだとつくづくうれしくなった。12時近くになったが雨がシトシト。お弁当を食べる適当な場所が見あたらないので民



家のガレージを借りることに。声をかけると快く場所を空けて下さりお食事タイム。お腹も膨らみ歩き始めたところ、円照寺の門柱の所で1人の足が泣いた。寒いし雨も強く降ってきたので、ちょうど近くにあるバス停から、バスに乗りJR奈良駅へ。

半日しっかり歩いて全員満足顔。残りのコースの楽しみは次に取っておこうと家路についた。4月の終わりとは思えない寒～い一日でした。でもやっぱり山も笑い人も笑う歩こう会です。

上田雅代

運営委員会報告

5月の運営委員会は5月22日(金)午後8時より事務所で開催され、委員14人が出席しました。

吉田代表世話人は「新型インフルエンザが流行しています。大阪府下の5月中のセミナーがすべて延期になりましたが、奈良県も気をつけてください。また副代表世話人の後任は、現在のところ保留です」と挨拶し議事に入りました。

報告事項

1. 伝統の日感謝のつどい「瑞浪会場」へは6月14日(日)、15名参加予定です。

集合出発：午前6時(南十三の至誠堂製薬株社員駐車場)

世話係：上田均さん、細川成樹さん

参加費：3000円

申込締切：6月12日(金)

2. 事務所会費(前期分)は6月29日(月)までに各地区連絡係が徴収します。

3. 第13回生涯学習セミナー準備状況については次の通りです。

開催日：平成21年9月17日(木)、18日(金)

講師：B講師...沖野一氏(愛媛南予)、A講師...榎正和氏(伊賀)

役割：実行委員長 岡川福弘さん、副実行委員長 山下幸則さん(講師関係)、富士俊隆さん(会場関係)、上田均さん(受講関係)、村田良彦さん(総危機管理)

セミナー打ち合わせ会：5月31日(日)、大阪講堂で開催

4. 青年クラブは5月19日委員会を開催し、奈良県青年クラブの企画で平成22年4月11日(日)または18日(日)に青年対象の運動会をすることに決定。場所は、旧御所東高校体育館を予定。詳細は今後順次打ち合わせをしていきます。

5. 7月5日(日)13:30から県協議会女性クラブ主催の講演会が、高取町リベルテホールで開催されます。テーマ『楽しい家庭は笑顔から』講師は今西邦雄氏((財)モラロジー研究所社会教育講師)、榎信子氏(スマイルセミナー講師)。ご夫婦の参加は大歓迎です(特に若い夫婦)

6. 7月11日(土)女性の集いを開催します。賀名生の里歴史民族資料館伝承館(五條市西吉野町)、講師、平井末治氏((財)モラロジー研究所社会教育講師)

審議事項

1. 本部主催 維持員研修会を、今後の教育活動を担える人材育成への取り組みを進める(平成21年度モラロジー教育活動参照)目的で開催する。

開催日：平成21年7月18日(土)、19日(日)

会場：当事務所講堂

講師：(財)モラロジー研究所社会教育講師 服部益三氏(愛知県小牧)

体験発表：春田正一氏(大阪府摂津モラロジー事務所代表世話人)

参加目標人数：40名以上

参加費：2,000円

テキスト：維持員ハンドブック(必ず持参)

役割：司会進行・講師送迎 研修委員、湯茶接待・食事担当(講師接待も含む) 女性クラブ、案内状作成・受付 総務委員、広報委員、会計 会計委員、駐車場 社会貢献委員

時間割：9:00 受付、9:30 開会、14:30 閉会

2. ビジネスクラブのクラブ長を杉村純一氏に変更。

講座受講予定表を掲示しましたので、受講予定の方は、ご記入ください

やすらぎアンケートに御協力下さい

過日、お願いしています、やすらぎアンケートにご記入いただき、地区委員の方にお渡しください。

編集後記
六月は梅雨期に入り、田植えが始まります。早苗の植えられた田の中では、蛙が鳴きはじめ、にぎやかな合奏がきこえてきます。そして暮れては蛍が飛び交います。また、あめにけぶり、七色にに変化するといわれる「あじさい」もその美しい花を咲かせはじめます。
はじめした梅雨もよし、自然の風情を楽しむもよし。
よう